

黄色いハンカチ作戦の流れ 地震発生！揺れが収まったら…

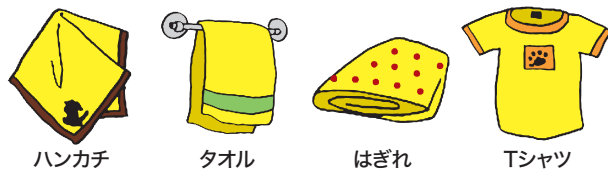
まず 靴をはいて家の中を点検し、二次災害を予防してください！



次に 家にある家族が全員無事だったら 黄色いハンカチ作戦！

大地震の後、家にある家族が全員無事だったら、黄色いハンカチ(大きく目立つ黄色い布)を玄関先などに掲げてください！
災害時、ご近所さんに「うちは大丈夫！」と知らせる目印です！

大きく目立つ黄色い布なら何でもOK！



黄色いハンカチ作戦を行えば
安否確認がスピードアップ！
いちいち「ピンポン」しなくても
外から一目で無事と分かります！

黄色いハンカチ作戦を行わないと…

黄色いハンカチがないと、1軒1軒「ピンポン」して安否確認をするので、とても時間がかかります。応答があるまで無事かどうか分かりません…



安否確認に時間がかかり、助かる命を救えません！

迅速な安否確認が
助かる命を救います！

迅速な安否確認のために、大きく目立つ黄色い布を各ご家庭で必ず用意してください！

箕面市では、迅速な安否確認をするために「黄色いハンカチ作戦」を進めています！

昨年6月18日(月)、大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、市内では建物が半壊するなどの被害が発生しました。一方、地震発生直後の混乱の中、「黄色いハンカチ作戦」を行った自治会*などでは、迅速な安否確認をしていただきました。

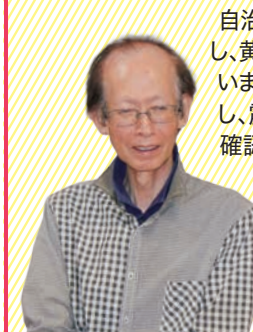
大規模災害時には、隣近所の人たちで素早く安否確認を行い、救助が必要な人を早く見つけることが、命を守るために非常に重要です。災害時の被害を最小限に抑えるため、今後とも「黄色いハンカチ作戦」にご協力をよろしくお願いします。

*自治会にはマンション管理組合を含みます。

自治会長さんにインタビュー

私たちは「黄色いハンカチ作戦」を進めています！

●箕面東コーポラス自治会 会長 鶴崎 邦夫さん



自治会で、「安全」と書かれた黄色いマグネットシートを作成し、黄色いハンカチの代わりとしてマンション全戸に配布しています。通常は、玄関のドアの内側に貼りつけるなどして保管し、震度4以上の地震が発生した場合は、ご家族の安否を確認した上で、ドアの外側に貼り出すよう願っています。

昨年6月の大阪北部地震では、全220戸の約9割のお宅でマグネットシートが貼り出され、短時間で全てのお宅の安否確認を行うことができました。今後も、スムーズに安否確認ができるよう、定期的に防災訓練を行っています。



●彩都栗生南7丁目自治会 会長 村田 将樹さん

災害時、黄色いハンカチ作戦をスムーズに行うことができるよう、全51戸の「安否確認分担当表」を作成し、日頃から訓練を実施しています。今年1月17日の全市一斉総合防災訓練では、8割以上のお宅で黄色いハンカチが掲げられ、迅速に安否確認を行うことができました。発災時、不在にしている世帯は、自治会長の私に連絡を入れてもらうしくみを作っています。

また、防災担当者が避難情報や安否確認の状況を随時発信することで、自治会内での情報共有ができるよう、スマホアプリを活用した緊急用の連絡グループを設けています。

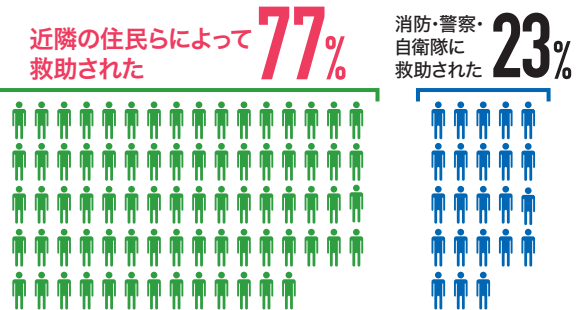


阪神・淡路大震災では8割近いかが地域の絆で命を救われました

地震などの災害が発生したとき、公的な機関だけで全ての命を救うことはできません。

阪神・淡路大震災では、消防や警察などに救助されたかたは2割程度しかおらず、約8割のかたは、自治会など地域のかたに救助されました。

阪神・淡路大震災で救助された人の救助要因



隣近所の素早い安否確認が、多くの命を救うことになります！

左ページで「黄色いハンカチ作戦」の流れを確認してください！

命の
パスポート

シリーズ 101

災害時「うちは大丈夫」の目印は
黄色いハンカチ作戦！